

日本脆弱性骨折ネットワーク（FFN-Japan）データベース事業への参加について

1. 研究目的

大腿骨近位部骨折（頸部骨折、転子部骨折）は脆弱性骨折の終着駅とも言われ、高齢化の進行する世界的な規模での対策が求められています。

Fragility fracture network（FFN）では活動の1つとして大腿骨近位部骨折治療のガイドラインに基づいたデータベースを作成し、大腿骨近位部骨折治の改善、進歩への改革を実施しています。

FFN-Japan では国際比較を念頭に置いて、FFN と共通のデータベースを作成して、病院間、地域性、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討しようと考えております。

本プロジェクトの目的は、大腿骨近位部骨折の適正治療、二次骨折予防の徹底を実現し、海外での実施モデルを参考にして国家的に診療報酬につなげることです。

2. 研究協力の任意性と撤回の自由

この研究に参加するかどうかは、あなたの自由な意思でお決めください。

研究への参加をお断りになることもできます。

また、参加に参加していただいた場合でも、研究に参加されている期間中いつでも参加を取り消すこともできます。それらの場合に、担当医師との関係や、今後の治療に対して不利益をこうむることは全くありません。

3. 研究組織

NPO 法人日本脆弱性骨折ネットワーク <https://ffn.or.jp/>

E-mail : office@ffn.or.jp TEL : 025-368-7255

4. 研究方法

研究に参加していただける方の主な条件

研究参加施設を受診された骨脆弱を伴った大腿骨近位部骨折（頸部骨折、転子部骨折）患者

研究に参加していただけない方の主な条件

高所からの転落など、高エネルギー外傷で受診された方

がんの転移などによる病的骨折の方の大腿骨近位部骨折は、高齢者の健康や活動性を奪う重大な疾患で、高齢化の進行する日本だけでなく世界的な規模での対策が求められています。

当院では日本脆弱性骨折ネットワーク（FFN-Japan）が中心となって進めている日本の大腿骨近位部骨折データベースプロジェクトに参加して、日本における大腿骨近位部骨折治療の状況や課題について検討する治療経過の登録を実施しています。

方法

入院中及び入院後 30 日目、120 日目、365 日目の治療経過と健康について聞き取りを行います。

個人情報の取り扱いについて

患者さん・ご家族に関する個人情報は当院にて厳重に管理されます。

治療経過については個人が特定されない情報としてプロジェクト事務局に報告されますが、プライバシーは厳重に守られます。

5. 問い合わせ先 四日市羽津医療センター 医事課 TEL:059-331-2000

四日市羽津医療センターを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	日本脆弱性骨折ネットワーク (FFN-Japan) データベース事業参加 (No. 133)
当院の研究責任者 (所属)	瀧川 慎也 (整形外科医師)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	—
本研究の目的	大腿骨近位部骨折の手術を行った患者をの追跡調査を行い、大腿骨近位部骨折治療の改善、二次骨折予防の徹底を実現し、進歩への改革を行う。
調査データ 該当期間	2023年9月から開始
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者様 2023年9月から当院にて大腿骨近位部骨折の手術を受けられた方 ●利用する情報 患者基本情報、疾患、手術情報、入院日から30日、120日、365日後の状況
試料/情報の他の研究 機関への提供および 提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から指名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：059-331-2000 四日市羽津医療センター 医事課
備考	